

目次

はじめに：研究の概要と意義（東海大学 政治経済学部教授 前田 成東）	1
第1章 序論：研究の背景と目的	3
1. 研究の位置づけ	3
2. 八王子市における高齢化の現状	4
(1) 急速な高齢化	
(2) 変化する家族のかたち	
3. 本調査研究の目的と構成	6
(1) 調査研究全体の目的と方法	
(2) 本報告書の構成	
4. 中間報告書（2010年度研究成果）の概要	7
(1) 生きがいと人とのつながり	
(2) 幸福感を高める生きがい意識	
(3) つながり「今から」結ぶために	
第2章 自由記述回答から探るより豊かな高齢社会への展望	
八王子市中高年世代アンケート調査から	11
1. 問題設定 分析の背景と目的	12
(1) 自由記述回答に着目する意義	
(2) 使用するデータの概要	
(3) 分析の目的と本章の構成	
(4) 分析の方法	
2. 自由記述回答全体の傾向	14
(1) 頻出ワード上位 40	
(2) 不安感を示している回答者の特徴と不安の中身	
(3) 高齢社会に対して肯定的か、否定的か	
(4) どのような人が高齢社会に対して肯定的回答を寄せているのか	
3. より豊かな高齢社会に向けた展望を探る	24
(1) 人とのつながりに関する回答の特徴	
(2) 若い世代への思いに関する回答の特徴	
(3) 「健康」というキーワードを使用した回答の特徴	
(4) 仕事に関する回答の特徴	
4. 要約と考察 安心して暮らしたいという願いへ向けて	34
(1) 人とつながり、協力し合うことの重要性	
(2) 多世代交流のすすめ 若い世代も豊かに暮らせる社会	
(3) 生きがいをもたらす健康と仕事	

第3章 中高年世代と社会的孤立 八王子市中高年世代アンケート調査から	39
1. 問題設定 分析の目的と方法	40
(1) 分析の背景と目的	
(2) 使用するデータと分析の流れ	
2. 中高年世代における社会的孤立と孤独感の現状	43
(1) 社会的孤立と他者から受けられるサポート	
(2) なぜ社会的孤立は問題か	
(3) 社会的孤立と孤独感との関連性	
3. 社会的孤立傾向にある中高年の基本的特徴 クロス表から探る	49
(1) 人口学的特性 性別、年齢層	
(2) 家族特性 一人暮らし、配偶者の有無など	
(3) 社会経済的特性 現在の就業、居住形態など	
(4) 健康状態特性 主観的健康感、外出頻度など	
(5) 生活実態としての地域関係特性 現在の団体参加、近所づきあいの程度	
(6) 生活意識特性 団体参加意向、近所や地域とのつきあいに対する考え方	
4. どのような人が孤立しているのか 多変量分析から探る	56
(1) 社会的孤立に影響の大きい要因を探る	
(2) 男性の場合(全数)	
(3) 男性高齢者の場合(65歳以上)	
(4) 女性の場合(全数)	
(5) 女性高齢者の場合(65歳以上)	
5. 要約と考察 社会的孤立の予防と対応に向けて	63
(1) 暮らし全体の質の低下と孤立との関連	
(2) 孤立している人の多様な価値観	
(3) 性別によって異なる孤立の特徴	
(4) 年齢層によって若干異なる孤立の発生率	
(5) 他者との接点を形成する機会としての仕事や居住環境	
(6) 健康は社会関係を保つ礎	
(7) 日常生活が生み出すつながり	
(8) 孤立から緩やかなつながりへ、一步踏み出せる社会環境づくり	
(9) 残された課題	
第4章 高齢化の進展を見据えた地域活動	
大規模開発団地の町会・自治会への聞き取り調査から	71
1. 本章の目的と調査の方法	72
(1) 調査の背景と目的	
(2) 調査の概要	
2. 高齢社会に対する団体の問題意識	75
3. 高齢化を見据えた地域の取り組み	75
(1) 人や地域とのつながりを創り出す	
(2) 高齢化に伴う身体機能の低下を補う	
(3) 高齢化に対応した地域のしくみに変える	

4 . 個人の地域活動への参加の促進	87
(1) きっかけ段階	
(2) 活動の担い手になる段階	
5 . 団体運営上の課題	91
(1) 人材	
(2) 体制	
(3) 拠点	
(4) 資金繰り	
(5) 情報	
(6) 町会・自治会への加入促進と維持	
6 . 要約と考察 高齢社会を支える地域活動の発展に向けて	96
(1) 基本的視点「きっかけ」、「身体機能の低下」、「地域のしくみ」からのアプローチ	
(2) 「きっかけ」は地道な活動を重層的に連携して	
(3) 活動のステップ・アップには「キーワード」の存在	
(4) 個人を支える地域活動を継続させるために念頭に置くべき課題	
(5) 地域の団体が連携し合う重要性	

第5章 結論：生きがいをもって暮らせる高齢社会を目指して

人と人とのつながりが育つまち八王子に向けて（提言）	101
1 . 八王子市における高齢社会の現状と課題	102
(1) 高齢化の現状	
(2) 高齢社会における本市の課題	
2 . 生きがいをもって暮らせる高齢社会を目指して	104
(1) 「人と人とのつながりが育つまちづくり」の推進	
(2) 実現のための視点と行政のサポート	
3 . 提言を実現するための視点	105
視点1：小さなきっかけから大きなつながりへの展開	
(1) 興味から結ばれる縁“関心縁”の奨励	
(2) 多様な社会的役割に取り組める環境整備	
(3) 社会関係を保つ礎である健康の重要性	
(4) 地域の団体が連携し合う重要性	
視点2：社会的孤立を予防する環境づくりの推進	
(1) 顔の見える関係づくりに取り組む	
(2) 外出しやすい環境づくりを進める	
(3) 公民の連携による孤立予防を図る	
視点3：多世代交流の推進	
(1) 多世代で地域社会を支え合う	
(2) 働くことで社会とつながる	
(3) 地縁団体活動参加への門戸を広くする	
4 . 継続的に支えるための取り組み	111
取り組み：市の政策の基本事項としての位置づけ	
(1) 総合計画上に明確に位置づけ、継続的に取り組む	

(2) 複数の社会的課題を解消する複合的な事業実施を図る	
(3) 人と人とのつながりが生まれ育つような事業展開を図る	
5 . 結びにかえて	113
おわりに(八王子市都市政策研究所長 原島 一)	115
八王子市都市政策研究所 研究担当	118
参考資料：中間報告書「八王子市中高年世代アンケート調査からみた「より豊かな高齢社会」 生きがい・幸せ・地域とのつながりを中心に」	119